

平成30年度

## 「管内研修センター等連携」研修講座

### カリキュラム・マネジメント

#### ねらい

カリキュラム・マネジメントに係る講義や協議、演習を通して、カリキュラム・マネジメントの充実を図るに当たり、自分や学校の課題を解決するためのヒントを見付ける。

#### 内容

- 1 講義「カリキュラム・マネジメントの考え方と実際」
- 2 演習「カリキュラム・マネジメントの実現に向けた課題の明確化」
- 3 演習・協議「カリキュラム・マネジメントの充実」
- 4 まとめ

### 1 カリキュラム・マネジメントの考え方と実際

#### 1 カリキュラム・マネジメントの考え方と実際

##### 学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実  
学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養  
生きて豊く知識・技能の習得  
未知の状況にも対応できる  
思お力・創造力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、  
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む  
「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

具体的に  
どうな  
(シテ)

##### 何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた  
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し  
小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公民」の  
新設など  
各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造化  
して示す  
学習内容の削減は行わない

##### どのように学ぶか

主導的・対話的で深い学び（「アクティブ・  
ラーニング」）の視点からの学習過程の改善  
生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる  
資質・能力を育成  
知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程  
の質的改善  
主導的な学び  
対話的な学び  
深い学び

## ○ カリキュラム・マネジメント

児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通じて、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと。

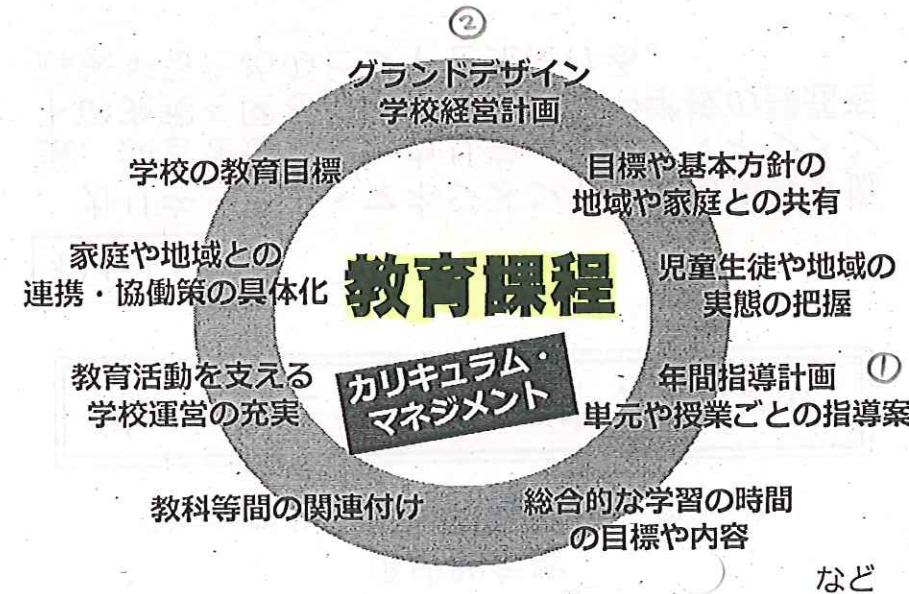
小（中）学校学習指導要領（平成29年3月 文部科学省）より作成 総則

## ○ カリキュラム・マネジメント

### 三つの側面

- ① 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。
- ② 教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。
- ③ 教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。

中央教育審議会 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申） 平成28年12月21日より作成



何ができるようになるか  
(育成を目指す資質・能力)

第1 小中学校教育の基本と  
教育課程の役割

何が身に付いたか  
(学習評価の充実)

第3 学習評価

何を学ぶか  
(教科等を学ぶ意義と、教科等間・学校段階間のつながりを踏まえた教育課程の構成)

第2 教育課程の編成

どのように学ぶか  
(学習・指導の改善・充実)

第3 教育課程の実施

実施するために何が必要か

第5 学校運営上の留意事項

「第6 道徳教育に関する配慮事項」は、複数の項目にかかる。

## 2 カリキュラム・マネジメントの実現に向けた課題の明確化

\* | 人気は? いく  
皆がやるいこのが大切!!

9

## 3 カリキュラム・マネジメントの充実

11

### 2 カリキュラム・マネジメントの実現に向けた課題の明確化

#### ○ 協議の流れの説明

カリキュラム・マネジメントの実現に向け、自校や自身の取組状況についてワークシートに記入し、その内容を中心とした交流を通して、課題の明確化を図る。

#### 【時間】

ワークシートの記入（2分）

記入内容の交流（5分）

課題の記入（5分）

10

#### グランドデザインの構想例

何ができる  
ようになるか

子供の発達を  
どのように  
支援するか

何を学ぶか

何が  
身についたか

どのように  
学ぶか

実現するため  
に何が必要か

学校教育目標  
教科  
教員  
評議会

12

**大切にしつけてほしいこと**

- ⑥ カリキュラムをすくいに  
グランドデザインを作成する

**目的の明確化**

学校全体として、カリキュラム・マネジメントを確立し、各学校の教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図る。

小（中）学校学習指導要領解説総則編（平成29年6月（7月）文部科学省）より作成 13

**<グループ演習・協議の進め方>****子どもの実態**

- 友達の考えに対して自分の考えをもてる子どもが3割程度
- 自分には良いところがあると思っている子どもは3割程度
- 物事を最後までやり遂げることができる子どもが多い

**目指す子どもの姿**

- ほかの人の話の内容と自分の考えを結び付ける
- 自分やほかの人のよいところを進んで見付ける
- 良い行動を考え、進んで取り組む

**○ 演習・協議の流れの説明****<協議題>**

目指す子どもの姿を実現するための教育課程をどのように編成・実施すべきか。

**【流れ】**

- ①グループ演習・協議（50分）※4人程度
- ②全体交流①（5分）
- ③全体交流②（15分）
- ④まとめ（5分）

**<グループ演習・協議の進め方>**

- (1) 教育課程をどのように編成・実施するかを検討（演習シートを活用）
  - ・視点1 何ができるようになるか。
  - ・視点2 何を学ぶか。
  - ・視点3 どのように学ぶか。
  - ・視点4 子ども一人一人の発達をどのように支援するか。
- (2) 検討した視点1～4の具体を、目指す子どもの姿を実現するためのグランドデザインに係る資料として演習シートを3に拡大した用紙に整理

## <全体交流①・②の進め方>

### ○ 全体交流① (5分)

- 各グループが作成した演習シートをA3に拡大した用紙を机上に置き、全員が自由に移動して見て回る。
- 発表を聞きたいと思うグループの用紙に付箋を貼る。

### ○ 全体交流② (15分)

- 付箋を多く貼られたグループがそれぞれ5分以内で発表する。

17

課題 Q3: 14 (c) = 教科等横断的な視点  
 Q6: 12 (c) = 研修の充実 (カリキュラム・マネジメントの視点)  
 (初年度が多め)  
 ▶ 今後の7年間の課題

## 4 まとめ

- ① 人物的資源の確保改善 → 地域によるバラつき

19

○どのよきに手がかり → 非常に貴重な  
 ○何を学ぶか (関連性有り)  
 (経営参画意識) = (組織化)

### 質疑応答

- ・グラウンドデザイン～(つまは) 周知する手がかり グラウンドデザイン(英有)いく  
 ハメハメ一筋の手がかり  
 のが有効。
- ・当校構造図とグラウンドデザインの関係  
 グラウンドデザインとが 8号けんや構造図の  
 中に入っているO.K.可視化されて  
 要素が入っているのはO.K.  
 わかりやすく可視化されると云々あるの  
 全体がわかる一部で  
 全体がわかる大事。

平成30年度  
 「管内研修センター等連携」研修講座

### カリキュラム・マネジメント

20